

平成 29 年度さくらねこ無料不妊手術事業

一般枠協働ボランティア事後調査アンケート 集計結果

さくらねこ無料不妊手術事業とは

どうぶつ基金が動物愛護事業の基軸として行っている「さくらねこ無料不妊手術事業」は「飼い主のいない猫」に対し「さくらねこTNR(Trap/捕獲し, Neuter/不妊去勢手術を行い, Return/元の場所に戻す, その印として耳先をさくらの花びらのように V 字カットする)」を実施することで、繁殖を防止し、「地域の猫」「さくらねこ」として一代限りの命を全うさせ、「飼い主のいない猫」に関わる苦情や、殺処分への減少に寄与する活動です。

平成 29 年度は 1774 名(団体)のボランティア、48 の行政機関と協働し、22555 頭(耳カットのみ含)のさくらねこ無料不妊手術を実施しました。

1. アンケート概要

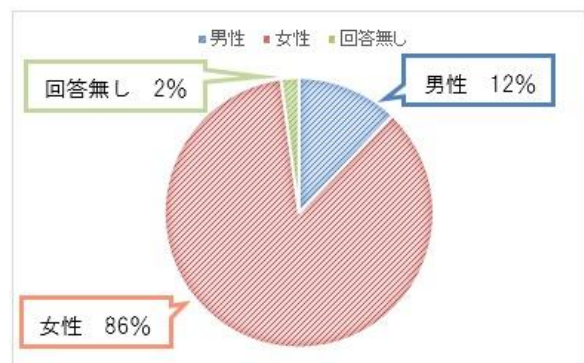
平成 29 年度に「さくらねこ無料不妊手術事業」の一環として発行している「さくらねこ無料不妊手術チケット(以下チケット)」に申請があった 5118 件のうち、審査を通り実際にチケットを使用し TNR を行った協働ボランティアへ事後調査アンケートを実施しました。

- 平成 29 年度さくらねこ無料不妊手術チケット一般枠申請者数 1774 件
- アンケート回答数 746 件

2. 協働ボランティアの男女比

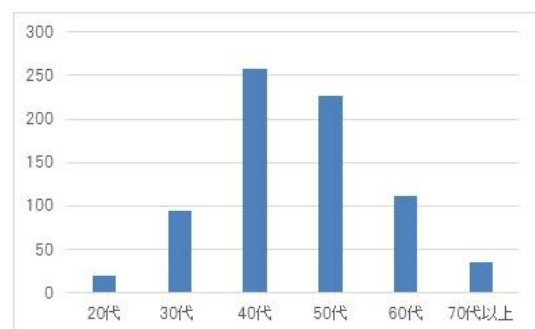
男性： 91 名
女性： 639 名
回答無し： 16 名

86%が女性でした。



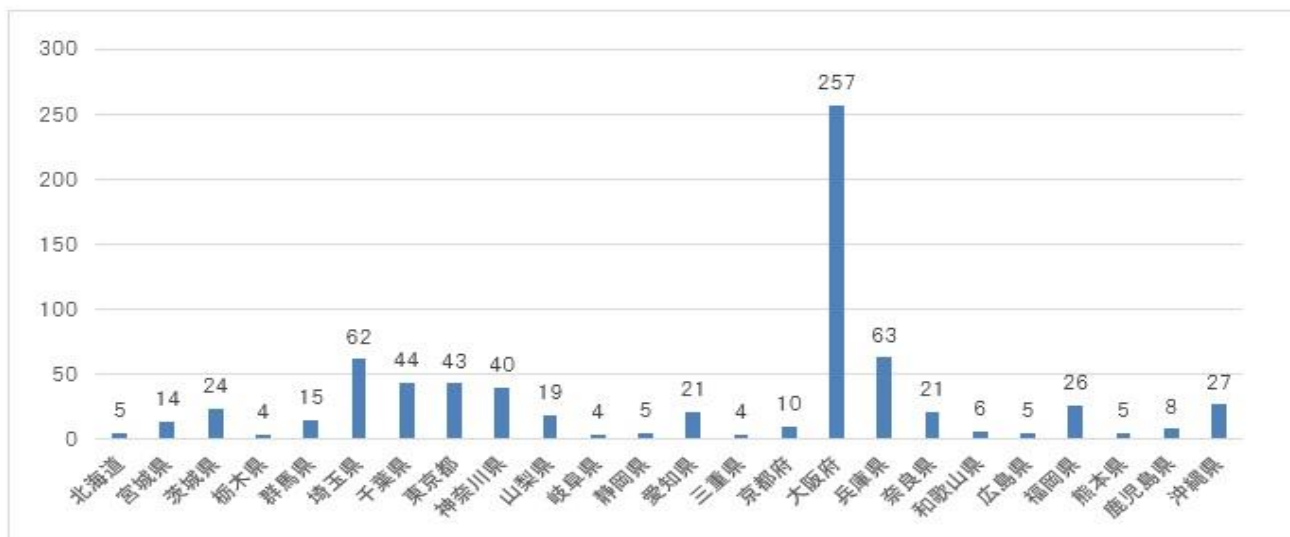
3. 協働ボランティアの年齢層

20代： 20 名
30代： 95 名
40代： 258 名
50代： 226 名
60代： 112 名
70代以上:35 名



85%が 40 代以上、20%が 60 代以上

4. 都道府県別協働ボランティア数



34%が大阪でした。各地の協力病院数の関係から関西 関東圏にボランティアが集中しています。

5. 配布チケット数について

29年度に配布を受けたチケット数	票数	%
1～10	485	66%
11～30	167	22%
31～60	59	8%
61～100	18	2%
100～200	14	2%
201以上	3	0.4%

配布されたチケットの使用率	票数	%
100%	444	60%
80～99%	159	22%
60～79%	48	6%
40～59%	33	4%
20～39%	15	2%
1～19%	10	1%
使わなかった	37	5%

60%のボランティアさんが配布されたチケットを 100%使用しました。

88%のボランティアさんが 80%以上の使用率でした。

6. 猫の実態

さくらねこTNRをした猫は行政に公式に認められた地域猫ですか	票数	%
はい	93	12%
いいえ	653	88%

地域猫は全体のわずか 12%

7. さくらねこTNRを実施した猫の変化

TNRを実施した地域の猫に関して(複数回答)	票数	%
子ネコの出産が減った・ほぼゼロになった	606	81%
性格が穏やかになった	348	47%
さかり声が減った・ほぼ無くなった	400	54%
尿臭が激減した・ほぼなくなった	164	22%

TNR後の猫の数について	票数	%
猫の数が減った	335	45%
猫の数は変わらない	392	53%
猫の数が増えた	19	2%

8. さくらねこTNRを実施した地域住民との関わりの変化

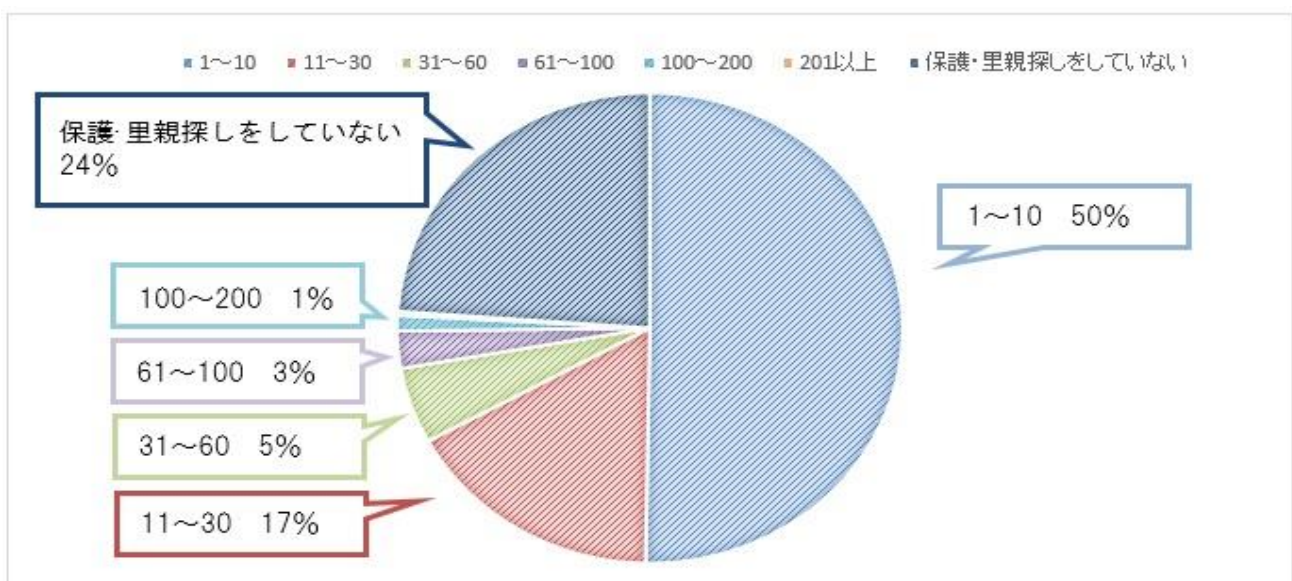
地域住民との関わりの変化について(複数回答)	票数	%
住民の理解が得られた	283	38%
苦情が減った	209	28%
餌やりさんのマナーが改善された・意識が向上した	255	34%
協力してくれるひとが増えた(できた)	453	61%
地域の人に感謝された	344	46%
猫を可愛がってくれる人がふえた	244	33%

住民と猫ボランティア(あなた)の関係は	票数	%
良くなった	345	46%
変わらない	395	53%
悪くなった	6	0.8%

9. 猫の保護や里親探しの実態

猫の保護および里親探しをしていますか	票数	%
はい	578	77%
いいえ	168	23%

過去一年間に保護、里親探しをした猫の数	票数	%
1～10	375	50%
11～30	125	17%
31～60	39	5%
61～100	19	3%
100～200	8	1%
201 以上	2	0.3%
保護・里親探しをしていない	178	24%



578 組(76%)の協働ボランティアさんが 9007 頭の猫の保護、里親探しをしました。

10. 今後の課題

今回の課題や問題(複数回答)	票数	%
人手不足	407	55%
資金不足	556	75%
捕獲がうまくできない	275	37%
行政との調整	287	38%
地元地域との調整	379	51%
特になし	28	4%

11. 飼い猫の捕獲について

総捕獲数約2万頭のうち 63 頭(0.3%)の飼い猫が捕獲機に入りました。通常は、飼い猫と確認できた時点で、手術はせずに元に戻すのですが、3頭(0.01%)が まちがって手術されました。3件とも飼い主に謝罪のうえ事情を説明した結果、ご理解を得ることが出来ました。

質問:間違っ手術した猫について、飼い主とはどう解決しましたか？

- 地域住民の方が飼い主さんと仲裁しての間に立って頂き大事にはいたりませんでした。
- 飼い猫の外飼い飼育の際は、首輪、去勢をする事という県の条例を行政(保健所)の職員さんに説明していただいた結果、理解納得してもらえました。
- TNR の主旨をお話しご理解頂けました。ただ子猫が産まれるのを楽しみにしていたので残念との事でした。

12. ピックアップコメント

- 無料チケットを送っていただいたことをきっかけとして、去勢・不妊手術に前向きでない高齢者の方々と話をする事ができました。チケットで無料の手術ができることが、地域での活動を展開するきっかけとなり、金銭的な支援以上の助けとなっています。ありがとうございました。
- 私の地域はまだTNRが知られていないです。野良猫に餌をあげるから猫が増えるという考えの方がほとんどです。もっと根元からTNRの重要性を広まるようになればいいなと思います。

●皆様の心あるご寄付に感謝を申し上げます。2年間で300匹を超える猫さん達の手術ができ、最近に行く先々で野良猫がいなくなった、発情の声が無くなったと声をかけて頂けるとようになりました。最近は取りこぼしや新顔さんをピンポイントで狙う難しい捕獲になっていますが2年前、捕獲器をかけるや否やバンバンと入る入れ食い状態だった事から今は入らない、いない、と嬉しい悲鳴です。それでも手付かずの現場はまだまだあり、これからもお世話になりますが、宜しくお願い致します。

●皆様の温かい気持ちがお外で頑張っている子の命につながります。ありがとうございます。

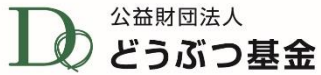
●この度はご寄付いただきありがとうございます。皆様からのご寄付からなるチケットにより避妊去勢手術代は無料となり、私どもTNRボランティアの自己負担額は大幅に軽減されております。その結果、年間を通して継続的にTNRに取り組むことが可能となっています。過酷な環境下で暮らす外猫たちをこれ以上増やさないよう引き続きご支援をよろしくお願い致します。

●TNRは、今ある命を最大限に大切に活動です。TNRによってさくらねこを誕生させる事は、1番確実に、まだ見ぬとてつもなく沢山の命を助ける取り組みです。皆様の貴重な浄財のお陰様で、沢山のさくらねこを誕生のお手伝いをさせて頂きました。2015年2月の十三地区の一斉手術以来、町内で回覧板を回して頂き、地元小学校に捕獲器をお預けして職員室前に捕獲器の実物を置かせて頂き、TNRの意義を学童の皆様に説諭頂いたり地道な広報が身を結び、お子様からお年寄りまで広く「さくらねこ」の存在とTNRの必要性を知って頂くことができました。過酷なお外で産まれる子猫は昨春以来1匹もいません。以前は増え過ぎてしまって、地域の問題の種だった猫達ですが、さくらねこになり、地域の皆様に温かく見守られて穏やかに暮らしております。大切なお金をどうぶつ基金様にご寄付下さいました皆様に、心より感謝申し上げます。

●苦情を言った人がネコに関心をもって見守ってくれるようになりました。餌やりや清掃など直接ネコに関わらなくてもネコの事で気付いた事があつたら教えてほしいとお願いしました。何をどうすればわからないだけでみんな何かしたいと思ってきてます。TNRしたら終わりじゃなくて一代限りの命を守り続けるのが大切だと思いました。

●大阪市北区で活動しております、猫の数はまだ多いものの、この数年でこの地区にはどうぶつ基金様のご支援を頂き多くのTNR活動を見かけるようになり、多くのさくら猫を見かけるよう変化して参りました。仔猫を見かける事も確実に減り、実際、我が国の猫の殺処分数は少しずつ減少しております。これも皆さまのご寄付を頂けているからこそ捕獲頭数を増やすことが出来ております。活動を始めて3年、約100匹の超えるTNRをすることが出来ました。自分だけの活動でしたら、これほど多くの頭数には至らなかったはずです。本当に有難う御座いました

●どうぶつ基金さま、どうぶつ基金さまにご寄付を下さった皆様のお力により、TNR 活動を進めてくれました。ありがとうございました。私 1 人での自費だけでは数をこなせませんでした。本当に感謝しかありません。



www.doubutukikin.or.jp

どうぶつ基金

検索

659-0004 兵庫県芦屋市奥池南町71-7 0797-57-1215 info@doubutukikin.or.jp